

平成30年度 第5回大島区地域協議会  
「出張地域協議会」

次 第

日 時：平成30年10月19日（金）  
午後6時30分から  
場 所：大島生活改善センター1階  
大集会室

1 開 会

2 報 告

- (1) 平成30年度地区要望の状況について 資料No.1
- (2) 大島区の主な施設の決算状況について 資料No.2
- (3) 8月28日豪雨災害の被害状況について 資料No.3
- (4) 干ばつ被害対策について 資料No.4

3 協 議

- (1) 地域協議会が必要と認めて審議する事項について

4 その他

- (1) 浦川原区地域協議会委員研修会への参加について 資料No.5
- (2) 「大・浦・安」地域協議会委員研修会について 資料No.6
- (3) 集落づくり推進員及び地域おこし協力隊について
- (4) 第6回地域協議会の開催日について

【開催日：11月\_\_\_日、開催時間\_\_\_時から】

5 閉 会

【意見交換会】

平成30年度 地区要望の状況について

地区	内 訳	要望件数			備 考
		計	新規	継続	
菖蒲地区	市関係	8件	1件	7件	【現地確認】 平成30年7月19日 午前
	県関係	5件	2件	3件	
大島地区	市関係	21件	2件	19件	【現地確認】 平成30年7月24日 終日
	県関係	14件	2件	12件	
保倉地区	市関係	21件	4件	17件	【現地確認】 平成30年7月23日 終日
	県関係	5件	0件	5件	
旭地区	市関係	6件	0件	6件	【現地確認】 平成30年7月19日 午後
	県関係	1件	0件	1件	
計	市関係	56件	7件	49件	
	県関係	25件	4件	21件	
合 計		81件	11件	70件	

要望箇所現地説明 市対応者

○浦川原区総合事務所

大坪所長又は長谷川次長

渡辺建設グループ長、大島班長、石田副主任

山崎産業グループ長、渡部班長

○大島区総合事務所

古田所長、武田次長、春谷班長、中村主事

平成30年度 地区要望の状況について

【地区名】:大島区 菖蒲地区(市関係)

No	関係町内	内 容	新規 継続	所管	現地 確認	備 考
1	牛ヶ鼻	市道下向線側溝敷設	継続	建設	○	
2	菖蒲東	市道川東線舗装修繕	新規	建設	○	
3	菖蒲西	市道菖蒲西中央線、西沖線、下山線及び西沖支線舗装修繕	継続	建設	○	
4	牛ヶ鼻	林道牛ヶ鼻浦田線フトン籠修繕	継続	産業	○	
5	牛ヶ鼻	市道小高岩線路肩改良及び舗装修繕等	継続	建設	○	
6	牛ヶ鼻	市道下向線及び沖ノ鼻線舗装修繕	継続	建設	○	
7	西沢	市道菖蒲西沢線舗装修繕(2ヶ所)	継続	建設	○	
8	牛ヶ鼻	林道牛ヶ鼻線浦田線草刈り作業	継続	産業	○	
	計	8件	新規 1件			

【地区名】:大島区 菖蒲地区(県関係)

No	関係町内	内 容	新規 継続	所管	現地 確認	備 考
1	菖蒲東	国道405号側溝グレーチング蓋等設置	新規	建設	○	
2	菖蒲西	国道405号の排水路修繕	継続	建設	○	
3	菖蒲西	堀切川の河川改修	継続	建設	○	
4	菖蒲西	国道405号のなだれ防止対策	継続	建設	○	
5	菖蒲東	県道菖蒲高原線見晴らし台付近の景観整備 (菖蒲高原地内)	新規	建設	○	
6						
	計	5件	新規 2件			

平成30年度 地区要望の状況について

【地区名】:大島区 大島地区(市関係)

No	関係町内	内 容	新規 継続	所管	現地 確認	備 考
1	三竹沢	市道三竹沢中央線舗装修繕	継続	建設	○	
2	熊 田	市道熊田峠線熊田橋の欄干塗装	継続	建設	○	
3	熊 田	水害防止対策(熊田三叉路)	継続	建設	○	
4	熊 田	U字溝入替(小酒井正八宅後ろ)	継続	建設	○	
5	熊 田	上之山土水路改修(飯田文夫宅下)	継続	建設	○	
6	熊 田	市道熊田中央線側溝蓋修繕	継続	建設	○	
7	仁 上	土砂流失防止策(横前沢地内)	継続	建設	○	
8	仁 上	仁上大橋の高欄改修	継続	建設	○	
9	棚 岡	町内市道(2路線)の白線引き	継続	建設	○	
10	棚 岡	市道棚岡東線の凍結防止剤散布	継続	建設	○	
11	大 島	市道道田線舗装修繕(亀の甲状態)	継続	建設	○	
12	大 島	大島生活改善センター玄関バリアフリー化	継続	産業	○	
13	中 野	市道中野峠線ガードレール修繕(3箇所)	継続	建設	○	
14	地 区	大島地域生涯学習センター駐車場の舗装	継続	教文	○	
15	仁 上	仁上大橋高欄の塗装及び安全柵	継続	建設	○	
16	仁 上	仁上峠線集水桝の改良(横前沢)	継続	建設	○	
17	大 島	大島生活改善センター小集会室の畳入替	継続	産業	○	
18	大 島	消火栓移設	継続	総務 地域	○	
19	中 野	市道中野下村線の蛇籠改修	継続	建設	○	
20	三竹沢	市道三竹沢中央線のL型側溝改修 (石塚ミサヲ宅付近)	新規	建設	○	
21	大 島	大島生活改善センター軒天補修	新規	産業	○	
	計	21件	新規 2件			

【地区名】:大島区 大島地区(県関係)

No	関係町内	内 容	新規 継続	所管	現地 確認	備 考
1	三竹沢	保倉川の護岸改修(三竹沢橋下流左岸)	継続	建設	○	
2	熊 田	ホタル水路土砂撤去・水漏れ補修	継続	建設	○	
3	仁 上	土砂流出防止対策工事 (高源寺裏の大久保川)	継続	建設	○	
4	石 橋	栃山川の河川改修(早川スイ宅前)	継続	建設	○	
5	棚 岡	保倉川の護岸改修(堂の久保地内)	継続	建設	○	
6	大 島	北屋敷沢砂防工事(共同墓地裏)	継続	建設	○	
7	大 島	築堤工事(金沢地内)「市道道田線が冠水」	継続	建設	○	
8	中 野	国道403号の側溝改修(坂田忠宅下)	継続	建設	○	
9	仁 上	不動越地すべり地区用排水路改修 (山田地内:2箇所)	継続	建設	○	
10	棚 岡	沢入川護岸改修(古川加津子宅前)	継続	建設	○	
11	仁 上	保倉川護岸改修(正面倉川からの用水取水口)	新規	建設	○	
12	仁 上	不動越地すべり地区用排水路修繕・U字溝布設 (不動越地内)	新規	建設	○	
13	仁 上	不動越地すべり地区排水路落差工及びU字溝改修 (川入地内)	新規	建設	○	
14	棚 岡	上越安塚柏崎線排水路改修(集水桝、排水パイ プに土砂の堆積)	新規	建設	○	
	計	14件	新規 4件			

平成30年度 地区要望の状況について

【地区名】:大島区 保倉地区(市関係)

No	関係町内	内 容	新規 継続	所管	現地 確認	備 考
1	上 達	市道上達細野線道路拡幅整備	継続	建設	○	
2	細 越	水路集水柵の改修(高橋美容室脇)	継続	建設	○	
3	細 越	市道大新田線の水路改修	継続	建設	○	
4	細 越	市道西山線側溝改修(高橋昭一郎宅脇)	継続	建設	○	
5	達	市道達居村線法面改修(早川洋一宅西側)	新規	建設	○	
6	達	市道糞山線安全柵設置	新規	建設	○	
7	達	モグラ沢法面改修(防火水槽付近)	新規	建設	○	
8	大 平	市道大平岩栗線のコンクリート舗装修繕	継続	建設	○	
9	大 平	市道梨ノ木線道路改良	継続	建設	○	
10	大 平	小野沢水路修繕	継続	建設	○	
11	大 平	市道大平上村線路面修繕(ガードレール設置)	継続	建設	○	
12	大 平	市道大新田線側溝清掃	継続	建設	○	
13	上 岡	市道宮ノ崎線側溝流末修繕(改良)	継続	建設	○	
14	上 岡	市道宮ノ崎線法面改良等(雪崩防止)	継続	建設	○	
15	上 岡	市道上岡線側溝の改修	継続	建設	○	
16	上 岡	市道梨ノ木線のガードケーブル支柱復元修繕	継続	建設	○	
17	千 原	千原橋欄干の修繕	継続	建設	○	
18	千 原	市道下岡千原線側溝修繕	継続	建設	○	
19	千 原	市道宮ノ崎線側溝流末修繕	継続	建設	○	
20	千 原	市道梨ノ木線側溝・路面清掃及び除草	継続	建設	○	
21	千 原	市道梨ノ木線イブ沢排水口改修	新規	建設	未	
	計	21件	新規 4件			

【地区名】:大島区 保倉地区(県関係)

No	関係町内	内 容	新規 継続	所管	現地 確認	備 考
1	細 越	国道253号の歩道脇側溝と民地との段差解消 (大平橋付近～押切橋付近間)	継続	建設	○	
2	細 越	県道上越安塚柏崎線の細越地内歩道に係る凍 結防止対策	継続	建設	○	
3	細 越	保倉川護岸整備(西山橋上流左岸)	継続	建設	○	
4	長者島	保倉川護岸整備(下岡橋下流左岸)	継続	建設	○	
5	長者島	保倉川護岸整備(長者島橋下流左岸)	継続	建設	○	
	計	5件	新規 0件			

平成30年度 地区要望の状況について

【地区名】:大島区 旭地区(市関係)

No	関係町内	内 容	新規 継続	所管	現地 確認	備 考
1	田 麦	自動車ポンプ置場(大島方面隊第1分団第1部)の新築	継続	総務 地域	○	
2	田 麦	市道田麦下村線側溝の蓋設置	継続	産業	○	
3	藤 尾	林道高所線暗渠の改良と法面工事	継続	産業	○	
4	竹 平	足谷地区地すべり防止区域内の、ほ場排水路復旧	継続	産業	○	
5	田 麦	市道田麦角間線コンクリート舗装	継続	建設	○	
6	田 麦	旭農村環境改善センターの屋根舗装	継続	産業	○	
	計	6件	新規 0件			

【地区名】:大島区 旭地区(県関係)

No	関係町内	内 容	新規 継続	所管	現地 確認	備 考
1	田 麦	市道田麦大山線の雪崩防護柵の整備	継続	建設	○	
	計	1件	新規 0件			



(単位：千円)

決算書 (P 230～P 233)	4款1項5目 診療所費	所管課等	健康づくり推進課 地域医療推進室
事業名	大島診療所管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
38,672	35,580				35,580 (使用料ほか)	
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	3,092			70	3,022	

**【事業の目的】**

大島診療所を開設することにより大島区における地域住民の健康保持・増進及び医療不安の軽減を図るとともに、市内の病院と連携し、地域医療を確保する。

平成 29 年 度 の 取 組

**【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】**

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

名 称	大島診療所
位 置	上越市大島区棚岡 1540 番地 1
運 営 方 式	直営
診 療 日	毎週月曜日から土曜日 (水・土曜日は午前のみ)
診 療 科 目	内科、外科、小児科

・診療日数及び延患者数

区 分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
			計 画	実 績
診療日数 (日)	294	292	292	293
延患者数 (人)	4,434	4,172	4,100	3,914
1日平均 (人)	15.1	14.3	14.0	13.4

決算書 (P230～P233)	4款1項5目 診療所費	所管課等	健康づくり推進課 地域医療推進室
事業名	大島診療所管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度			
			予算	実績		
①収入	使用料及び手数料	58,540	51,421	40,141	49,547	
	県支出金	-	534	-	-	
	諸収入	3,361	4,302	3,297	3,095	
	合計	61,901	56,257	43,438	52,642	
②支出	報酬	1,517	1,565	1,595	1,595	
	共済費	215	215	235	222	
	旅費	142	142	142	142	
	需用費	医薬材料費	30,608	27,180	31,920	26,065
		その他	1,278	5,114	2,227	2,140
	役務費	689	617	756	676	
	委託料	2,594	2,750	3,334	2,703	
	使用料及び賃借料	1,977	1,896	2,981	1,788	
	備品購入費	187	1,069	-	-	
	負担金	218	208	223	224	
	公課費	25	-	25	25	
合計	39,450	40,756	43,438	35,580		
③公費投入額(②-①)	△22,451	△15,501	0	△17,062		

※正規職員4人(医師1人、看護師2人、事務1人)の人員費40,456千円は、4款1項1目の保健衛生総務費職員人員費に計上

【事業の成果】

大島診療所を運営することにより、地域住民が安心して受診できる診療体制を確保し、地域住民の健康保持・増進及び医療不安の軽減を図ることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

患者数は少ないものの、引き続き地域住民の医療不安の軽減に向けて、継続的な医療環境を確保する必要がある。

【執行残額について】

○入札差金

・修繕料 70

○その他

・当初見込んだ患者数を下回ったことに伴う医薬材料費、診療器械借上料等の残 2,788

・光熱水費や電話料金等が見込みを下回ったことなどによる残 234

(単位：千円)

決算書 (P262～P263)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	大島ゆきわり荘管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他 (使用料・借入金)	一般財源
2,326	2,114				284	1,830
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	212			8	204	

## 【事業の目的】

地域の農林産物の特産品づくりにおける研修や地域振興のための会議、交流活動の場を提供することで、農業を通じた市民の生活文化の向上を図る。

## 平成 29 年度 の 取 組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○実施内容、これまでの経過等

・大島ゆきわり荘の維持管理及び運営

所在地	大島区大平 3874 番地 1
設置	平成 9 年度
構造	鉄骨造 2 階建
面積	498.3 m <sup>2</sup>
管理	直営 (業務委託)

## ○施設の管理実績

・利用者数等

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
			計画	実績
利用者数	3,834 人	2,039 人	-	1,748 人

※平成 28 年度から予約利用に変更。

決算書 (P262～P263)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	大島ゆきわり荘管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	77	67	59	65
	その他	219	219	219	219
	合計	296	286	278	284
②支出	施設維持管理費	3,460	2,078	2,326	2,114
	うち委託料	313	872	774	766
	その他	-	-	-	-
	合計	3,460	2,078	2,326	2,114
③公費投入額 (②-①)		3,164	1,792	2,048	1,830
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		825	879	-	1,047

【事業の成果】

- ・地元の農産物を利用した農産加工品(味噌・麴)づくりの場を提供することで、地域の農産物の活用が図られた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・主に冬期間の味噌や麴づくり、サークル活動等で一定の利用者があるものの、地域の過疎高齢化の急速な進行等により今後の利用増は見込めないが、利用実態に合わせた管理運営を今後も引き続き行い、住民の交流活動の場や、地域の会議・交流活動の場を提供する。

【執行残額について】

- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 8  
委託料 (8)
- ・その他：委託料、燃料費、光熱水費等の実績が当初の見込みを下回ったため 204

(単位：千円)

決算書 (P262～P265)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	大島青空市場管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,904	1,837				442 ④収入	1,395
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
	67				67	

## 【事業の目的】

地域の農林業者が生産した安全・安心な農林産物及び特産品を展示・販売、PRすることにより、地産地消を促進する。

## 平成 29 年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○平成 29 年度目標

- ・施設利用者数 50,000 人

## ○実施内容、これまでの経過等

## ・施設の概要

名称	大島青空市場
位置	大島区岡 403 番地 3
設置目的	地域の農林産物及び特産品を展示販売することにより、地域の産業の振興及び住民の生活の向上を図る。

## ・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	ゆきぐに森林組合
指定の期間	平成 28 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

決算書 (P262～P265)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	大島青空市場管理運営費		

○施設の管理実績

・利用者数等

区 分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
			計 画	実 績
利用者数	55,444 人	45,531 人	50,000 人	41,633 人
売上金額	73,603	63,916	69,860	59,845
うち地域産農林産物販売額	20,298	20,802	-	21,883
1人当たり客単価 (円)	1,328	1,404	-	1,437

※客単価は、月ごとの売上げ及び利用者数から算出しているため、合計とは一致しない。

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度		
			予 算	実 績	
①収入	332	350	475	442	
②支出	大島青空市場管理 運営委託料	-	-	-	
	管理運営委託料以 外の支出	884	755	1,904	1,837
	合計	884	755	1,904	1,837
③公費投入額 (②-①)	552	405	1,429	1,395	
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)	10	9	29	34	

○指定管理者制度の導入効果等

・指定管理料の増減額

前指定期間の指定管理料平均額 (決算ベース)	①	-
平成 29 年度の指定管理料 (委託料)	②	-
指定管理料の増減額	①-②	-

(参考) 指定管理者制度導入施設における指定管理者の収支状況 (税抜)

区 分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度		
			計 画	実 績	
①収入	利用料金収入	-	-	-	
	大島青空市場管理 運営委託料	-	-	-	
	その他	73,603	63,916	69,860	59,845
	合計	73,603	63,916	69,860	59,845
② 支出	78,058	67,753	69,532	66,778	
差引 (①-②)	△4,455	△3,837	328	△6,933	

決算書 (P262~P265)	6 款 1 項 3 目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	大島青空市場管理運営費		

○目標達成状況

- ・春先と秋の天候不順による農産物の出荷量の減などにより、施設利用者が減少し 41,633 人となり目標を達成することができなかった。

【事業の成果】

- ・農産物の出荷手段を持たない生産者が利用する、庭先集荷サービス事業の販売所（受け手）となり農家の所得向上に貢献した。
- ・地元で採れた農産物や加工品を多くの利用者に提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・公の施設再配置計画では、平成 30 年度末までに指定管理者へ譲渡するとしていたが、双方の合意が得られたことから平成 30 年 4 月 1 日に、ゆきぐに森林組合へ施設譲渡を完了した。

【執行残額について】

- ・その他：公衆トイレの光熱水費等の実績が当初の見込みを下回ったため 66  
事業実施に伴い端数残額が発生したため 1

(単位：千円)

決算書 (P264～P265)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	大島農業実習交流センター管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,368	1,219				429 (増収)	790
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	149				149	

## 【事業の目的】

花や野菜の栽培方法や稲作栽培などの農作業体験の拠点施設として、適正な管理と効率的な運営を行う。

## 平成29年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○平成29年度目標

- ・施設利用者数 5,000人

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・大島農業実習交流センターの維持管理及び運営

所在地	大島区牛ヶ鼻 2649 番地
設置	平成7年度
構造	鉄骨造2階建
面積	302.58㎡
管理	直営(業務委託)

## ○施設の管理実績

- ・利用者数等

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			計画	実績
利用者数	5,155人	5,048人	5,000人	5,062人



決算書 (P264～P265)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	大島農業実習交流センター管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	416	412	452	429
	合計	416	412	452	429
②支出	施設維持管理費	1,093	1,319	1,368	1,219
	うち委託料	210	442	442	442
	その他	4,676	-	-	-
	合計	5,769	1,319	1,368	1,219
③公費投入額 (②-①)		5,353	907	916	790
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		1,038	180	183	156

○目標達成状況

- ・施設利用者数は5,062人の実績となり、目標を達成することができた。

【事業の成果】

- ・区内小・中学校の農業体験等の受入れと越後田舎体験推進事業の取組により、地区住民との交流と体験活動を通して農業に対する関心を高めるきっかけづくりができた。
- ・花づくり、野菜づくり等の栽培指導会の実施により、地域住民の栽培技術の向上に貢献した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・継続して栽培指導会を実施するほか、農作業体験のメニューを増やすなど、利用者の増加に向けた取組を進める。

【執行残額について】

- ・そ の 他：燃料費、光熱水費、修繕料の実績が当初見込みを下回ったため 149

## 出資法人等経営状況報告書

### 1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	平成 30 年 8 月 22 日	担当部署	農林水産部 農政課
-------	------------------	------	-----------

※以下は平成 30 年 3 月 31 日現在の内容です。

### 2 法人等の概要

法人等名称	公益財団法人 大島農業振興公社				
代表者名	理事長 高橋 三登一				
	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤				
	<input checked="" type="checkbox"/> プロパー <input type="checkbox"/> 市派遣 <input type="checkbox"/> 市兼務 <input type="checkbox"/> その他				
所在地	新潟県上越市大島区牛ヶ鼻 2 6 4 9 番地				
設立年月日	平成 6 年 3 月 7 日	基本金	51,000 千円	市出捐割合	98.0%
設立目的	上越市大島区の区域における農業の担い手の育成、農作業の支援等を行うことにより、中山間地域の農業生産の維持及び向上並びに農地の効率的利用を図り、もって、大島区の区域の農業振興に寄与することを目的に設立。				

### 3 組織

(単位：人)

		理事・ 取締役	監事・ 監査役	計	内訳			
					プロパー	市派遣	市兼務	その他
役員	常勤	1	—	1	1			
	非常勤	6	2	8	8			
	計	7	2	9	9			
職員	正職員	—	—	5	5			
	臨時職員	—	—	0				
	パート職員等	—	—	0				
	計	—	—	5	5			

### 4 主な事業

(1) 農業の担い手の育成に関する事業
(2) 農作業の支援に関する事業
(3) 農用地の保全に関する事業
(4) 前 3 号に掲げる事業に関する情報の収集及び提供に関する事業
(5) 農地の有効利用及び効率的な使用を促す農地の貸し借り等権利調整に関する事業
(6) 技術習得等を目的とした研修等事業
(7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

## 5 事業実績（概要）

### ○農作業支援事業

#### ・基幹農作業受託事業

農業従事者の高齢化や若年労働者の減少が進む中、耕作放棄地の防止を図るため、基幹農作業を受託した。

項目	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	受託面積	受託面積	受託面積
耕うん	9.9 ha	10.8 ha	9.0 ha
代かき	14.4 ha	11.9 ha	11.0ha
田植	10.2 ha	7.2 ha	6.8 ha
刈取	12.4 ha	11.3 ha	13.2 ha
延べ面積	46.9 ha	41.2 ha	40.0 ha

#### ・農地集積及び農地借入れによる農業経営

農業従事者の高齢化や後継者不足による耕作放棄地の発生防止のため、担い手への農地集積を推進するとともに、受け手がない農地については公社自らが担い手となり管理耕作した。

項目	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
借入面積	45.3 ha	45.1 ha	40.3ha
公社耕作面積 (水稲作付面積)	20.3ha (14.1 ha)	20.1 ha (14.1 ha)	20.9ha (14.8 ha)
水稲収穫量 (10a 当たり収量)	63 t (7.5 俵)	68 t (8.0 俵)	59 t (6.7 俵)

生産した米は、「おおしま育ち」の名称で全国各地へ販売した。品質・安全性等の面で好評を得るも、販路が固定化し減少傾向にある。収量については、早生種の反収減が影響し豊作だった前年と比較して減収となった。

### ○園芸事業

#### ・花苗生産

上越市との契約及び JA えちご上越の協力により、温室 2 棟を活用し花苗の生産を行った。

#### ・農産物生産

温室の有効活用と地域に根付いた振興を目標に、自然薯、その他野菜の栽培に取り組んだ。また、将来的な安定収入を目標にアスパラガスの栽培に取り組んだ。(H23 定植 10 a、H24 定植 10 a、H25 定植 20a、合計 40a)

区分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
花苗生産 (千円)	5,791	5,314	5,069
野菜生産等 (千円)	3,074	5,457	3,829
合計 (千円)	8,865	10,772	8,898

### ○大島農業実習交流センター管理事業

市からの業務受託により大島農業実習交流センターの管理業務を行った。

### ○地域マネジメント組織の事務を支援

集落を超えて連携し地域の課題に取り組む組織の支援（中山間地域等直接支払交付金など）を行う。大島区農業振興会（16 支部）、多面的機能支払（14 組織）

## 6 財務状況

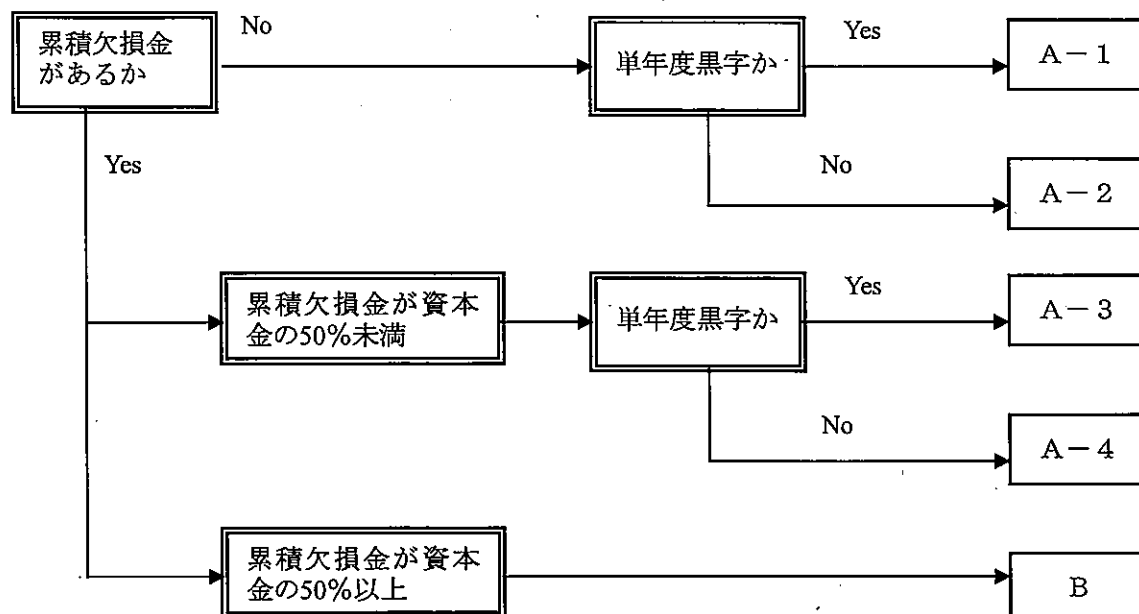
(単位：千円)

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
	自平成27年4月1日 至平成28年3月31日	自平成28年4月1日 至平成29年3月31日	自平成29年4月1日 至平成30年3月31日	
一般正味財産増減の部				
経常収益	65,718	65,475	63,504	
基本財産運用益	13	10	5	
特定資産運用益	0	0	0	
受取会費	0	0	0	
事業収益	54,866	57,179	55,371	
受取補助金等	10,299	7,785	7,709	
その他経常収益	540	501	419	
経常費用	64,861	65,164	63,838	
事業費	63,356	63,746	62,181	
管理費	1,505	1,418	1,657	
当期経常増減額	857	311	△334	
経常外収益	0	30	630	
経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	0	30	630	
税引前当期一般 正味財産増減額	857	341	296	
法人税等	0	0	0	
当期一般正味財産 増減額	857	341	296	
一般正味財産期首 残高	33,069	33,926	34,267	
一般正味財産期末 残高	33,926	34,267	34,563	
指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産 増減額	△568	△569	△570	
指定正味財産期首 残高	54,752	54,184	53,615	
指定正味財産期末 残高	54,184	53,615	53,045	
正味財産期末残高	88,110	87,882	87,608	
項目	平成28年3月31日現在	平成29年3月31日現在	平成30年3月31日現在	備考
貸借対照表				
資産	95,983	100,139	100,983	
負債	7,873	12,257	13,375	
正味財産	88,110	87,882	87,608	
指定正味財産	54,184	53,615	53,045	
一般正味財産	33,926	34,267	34,563	

※ 端数処理の関係から数値が符合しません。

## 7 経営状況の予備的診断

### 予備的診断フロー



評価	A-2
----	-----

評価基準		備考
A-1	累積欠損金がなく、単年度黒字の場合	引き続き経営努力を行う。
A-2	累積欠損金がなく、単年度赤字の場合	複数年の経過を注視しながら引き続き経営努力を行う。
A-3	累積欠損金が資本金の50%未満で、単年度黒字の場合	経営改善の努力を要する。
A-4	累積欠損金が資本金の50%未満で、単年度赤字の場合	経営改善の一層の努力を要する。
B	累積欠損金が資本金の50%以上の場合	事業の見直し等も含めた抜本的な経営改善を要する。

※ この評価に関連する特殊な事情又は要因など特記すべき事項

特になし。
-------

※ 公益法人においては、損益計算書を収支計算書・正味財産増減計算書に、当期利益を当期正味財産増減額に、累積欠損金を正味財産の部合計に読み替える。

## 8 市の関与の状況

### (1) 市の委託額

(単位：千円)

内訳	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
① 農業実習交流センター委託	156	384	400	
② 除雪作業委託	2,771	3,115	3,647	
③ 温室除排雪作業委託	790	1,029	1,056	
④ 公共花壇等管理運営業務委託	7,199	6,834	6,723	
⑤ 公共用地等除草業務委託	509	-	-	
計	11,425	11,362	11,826	

### (2) 市の財政援助額

(単位：千円)

内訳	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
① 補助金(助成金)	3,930	3,270	3,140	運営費補助金 3,140千円
② 貸付金	0	0	0	
③ 損失補償	0	0	0	
④ 債務保証	0	0	0	
⑤ その他( )	0	0	0	
計	3,930	3,270	3,140	

## 9 今後の経営計画等

### (1) 次期事業計画

設立当初の基本理念及び定款に定める目的に基づいた事業展開を行い、また、関係機関との連携を図り、農政活動や地域農業への支援体制を強化するとともに、公社自身の経営の健全化及び財政的な自立に向けた努力を継続し、地域農業を支える公社機能の充実に努める。

項目	平成30年度計画	平成29年度実績
農作業支援事業(農作業受託事業)	36.0 ha	40.0ha
地域農業活性化事業(管理耕作分)	15.3 ha	14.8 ha
花苗生産	4,915千円	5,069千円
野菜生産等	4,541千円	3,829千円
植栽管理	2,891千円	2,816千円
マネジメント事業	5,884千円	6,211千円

### (3) 中長期経営計画

中長期経営計画 無

(単位：千円)

決算書 (P276～P277)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	菖蒲高原緑地休養広場管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
6,927	6,879					6,879
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	48			48		

## 【事業の目的】

森林の有する幅広い効用を活用するとともに、野外での交流等の場を提供することにより、地域住民の連帯感の醸成及び市民の健康増進を図る。

## 平成29年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○平成29年度目標

- ・施設利用者数 2,700人

## ○実施内容、これまでの経過等

## ・施設の概要

名称	菖蒲高原緑地休養広場
位置	大島区菖蒲2962番地1
設置目的	森林の有する幅広い効用を活用するとともに、野外での交流等の場を提供することにより、地域住民の連帯感の醸成及び市民の健康増進並びに農林業者の就業機会の拡大に寄与する。

## ・指定管理の状況

導入開始年度	平成18年度
指定管理者	菖蒲高原管理運営組合
指定の期間	平成28年4月1日から平成31年3月31日まで

## ○施設の管理実績

## ・利用者数等

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			計画	実績
利用者数	2,240人	2,638人	2,700人	2,788人
宿泊者数	396人	685人	-	792人
日帰り者数	1,844人	1,953人	-	1,996人

決算書 (P276~P277)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	菖蒲高原緑地休養広場管理運営費		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
				予 算	実 績
①収入		-	-	-	-
②支出	菖蒲高原緑地休養広場管理運営委託料	6,523	6,290	6,290	6,290
	管理運営委託料以外の経費	1,167	845	637	589
	合計	7,690	7,135	6,927	6,879
③公費投入額 (②-①)		7,690	7,135	6,927	6,879
④利用者1人当たりの公費投入額 (単位:円)		3,433	2,705	2,566	2,467

○指定管理者制度の導入効果等

・指定管理料の増減額

前指定期間の指定管理平均額 (決算ベース)	①	6,437
平成29年度の指定管理料 (委託料)	②	6,290
指定管理料の増減額	①-②	147

※管理内容を見直したため、指定管理委託料が減少した。

(参考) 指定管理者制度導入施設における指定管理者の収支状況

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	1,130	1,732	1,300	2,075
	菖蒲高原緑地休養広場管理運営委託料	6,523	6,290	6,290	6,290
	その他	796	545	1,400	1,263
	合計	8,449	8,567	8,990	9,628
②支出		8,647	8,190	8,990	8,915
差引 (①-②)		△198	377	0	713

○目標達成状況

- ・インターネット予約の活用などによりコテージ利用者が増加し、目標を達成することができた。

【事業の成果】

- ・施設内の維持管理を適切に行い、利用者に不快感を与えないように施設内の美観維持に努めるとともに、森林環境教育の推進及び地域雇用の促進に貢献することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・周辺の観光スポットと連携を図り、更なる利用者増に取り組む必要がある。

【執行残額について】

- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 48



(単位：千円)

決算書 (P290～P291)	7款1項3目 観光費	所管課等	観光振興課
事業名	大島庄屋の家管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
25,999	25,546			2,500	16,817 (費用掛入)	6,229
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	453				453	

## 【事業の目的】

豊かな自然と日本の原風景、そこに生きる人々の暮らしや文化をいかした「体験型観光」の受入れを推進することにより、都市部の住民と地域住民との交流を促進し、民泊等の受入れによる地域経済の活性化を図る。

## 平成29年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○平成29年度目標

・利用者数：4,600人（うち宿泊者数1,600人、日帰り者数3,000人）

## ○実施内容、これまでの経過等

## ・施設の概要

所在地 大島区田麦1096番地2  
 設置 平成3年度(宿泊棟) 平成5年度(体験棟)  
 構造 宿泊棟…鉄筋コンクリート造2階建て  
 体験棟…木造一部2階建て  
 施設内容 宿泊棟…客室7室、食堂、浴室2室  
 体験棟…広間、調理体験室、座敷、奥座敷  
 面積 延床967.07㎡(宿泊棟711.56㎡、体験棟255.51㎡)  
 管理 直営  
 利用形態 日帰り及び宿泊施設

## ○施設の管理実績

## ・利用者数

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			目標	実績
利用者数	4,524人	4,445人	4,600人	4,549人
うち宿泊者	1,440人	1,637人	1,600人	1,260人
うち日帰り者	3,084人	2,808人	3,000人	3,289人

決算書 (P 290～P 291)	7 款 1 項 3 目 観光費	所管課等	観光振興課
事業名	大島庄屋の家管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度		
			予算	実績	
①収入	使用料収入	4,520	4,709	4,465	3,947
	その他	27,339	17,184	16,597	15,370
	合計	31,859	21,893	21,062	19,317
②支出	施設維持管理費	32,094	24,412	25,999	25,546
	うち委託料	11,429	11,679	11,812	11,768
	その他	-	-	-	-
	合計	32,094	24,412	25,999	25,546
③公費投入額 (②-①)	235	2,519	4,937	6,229	
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位: 円)	52	567	1,073	1,369	

○目標達成状況

- ・利用者数は 4,549 人 (宿泊 1,260 人、日帰り 3,289 人) であり、日帰り者数は目標を達成することができたが、宿泊者数で目標を達成できなかった。

【事業の成果】

- ・施設を訪れた利用団体数は、滞在体験型観光が 11 団体 (前年度 12 団体)、合宿利用が 4 団体 (前年度 5 団体) で、ホームステイや農業・食・工芸体験、環境学習などを体験する利用者と地域住民との交流拠点施設として活用された。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・宿泊の大部分を占める滞在体験型観光や合宿などの利用が減少した一方、地域における法要や宴会などの日帰り利用が増加した。
- ・新規利用団体の獲得に向けては、特に宿泊を対象とした体験プランの見直しを行うなど、ニーズを的確に把握したうえで、学校や旅行代理店等への営業活動を積極的に仕掛けていく。
- ・宿泊棟・体験棟はともに建設から 20 年以上が経過し、施設の老朽化に伴う修繕が増加していることから利用者の安全や利便性に配慮し、適切な維持管理に努める。

【執行残額について】

そ の 他 : 事業実施に伴う執行残 453

(単位：千円)

決算書 (P 298～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
340,904	299,921			126,100	780	173,041
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
37,242	3,741			2,587	1,154	

## 【事業の目的】

当市を訪れる観光客や市民に安らぎと憩いの場を提供し、市民の交流促進とともに観光客の増加を図る。

## 平成 29 年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

## ○平成 29 年度目標

- ・指定管理者制度導入 15 施設のうち、休止中の施設を除く 13 施設の利用者数 992,620 人

## ＜指定管理者制度導入 15 施設＞

- ①五智歴史の里会館
- ②リフレッシュビレッジ施設
- ③安塚雪だるま高原
- ④牧湯の里深山荘
- ⑤柿崎マリンホテルハマナス
- ⑥大瀧健康スポーツプラザ鶴の浜人魚館
- ⑦吉川スカイトピア遊ランド
- ⑧吉川緑地等利用施設
- ⑨吉川ゆったりの郷
- ⑩板倉保養センター
- ⑪ゑしんの里記念館
- ⑫三和ネイチャーリングホテル米本陣
- ⑬うみてらす名立
- ⑭大島あさひ荘 (休止中)
- ⑮三和味の謎蔵 (休止中)

決算書 (P298~P299)	7款1項3目 観光費	所管課等	観光振興課
事業名	観光施設等管理事業		

<大島あさひ荘>

○実施内容、これまでの経過等

- ・指定管理者の経営破綻により平成24年3月1日から平成25年6月30日まで休館。
- ・平成25年7月1日から新たな指定管理者を指定し、宿泊部門を除いて営業を再開したが、平成26年12月をもって指定管理者の指定を取り消し、平成27年1月から休止。

○施設の管理実績

- ・施設における市の収支状況

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
			予算	実績	
①収入	-	-	-	-	
②支出	修繕料	140	100	168	68
	大島あさひ荘 管理運営委託料	395	-	495	494
	その他	128	50	223	138
	合計	663	150	886	700
③公費投入額(②-①)	663	150	886	700	
④利用者1人当たりの 公費投入額(単位:円)	-	-	-	-	

<三和味の謎蔵>

○実施内容、これまでの経過等

- ・平成27年度をもって、飲食施設としての機能を休止。
- ・平成28年度からは、市の展示物や物品を収納する保管庫として活用し、必要最小限の維持管理を行っている。

○施設の管理実績

- ・利用者数等

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			計画	実績
利用者数	466人	-	-	-

- ・施設における市の収支状況

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
			予算	実績	
①収入	800	-	-	-	
②支出	修繕料	25	-	-	
	三和味の謎蔵 管理運営委託料	1,061	-	-	
	その他委託料	-	396	83	82
	合計	1,086	396	83	82
③公費投入額(②-①)	286	396	83	82	
④利用者1人当たりの 公費投入額(単位:円)	614	-	-	-	

(単位：千円)

決算書 (P284～P285)	7款1項2目 商工振興費	所管課等	産業振興課
事業名	商業振興支援事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他 (雑収入)	一般財源
71,886	67,098			3,900	5,942	57,256
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	4,788	1,247			3,541	

## 【事業の目的】

商工団体等が実施する賑わい創出のイベントや、地域事業者の主体的な取組への支援を通じて集客力の向上や売上の増加を図り、地域経済の活性化につなげていく。

## 平成29年度の取組

## 【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

大島やまざくら管理運営業務 4,252

## ○平成29年度目標

- ・施設利用者数 58,100人

## ○実施内容、これまでの経過等

- ・生鮮食品や日用品を扱うスーパーマーケットである「大島やまざくら」の運営を指定管理業務として委託するとともに、年4回の販売戦略会議や毎月の月次報告書提出時の経営状況の確認を通して、経営改善と売上の維持・確保、新たな利用者の獲得に向けた協議、助言を行った。

指定管理者 有限会社やまざくら

指定期間 平成28年4月1日～平成31年3月31日

## 【施設の利用実績】

## (1) 利用者数等

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			計画	実績
利用者数	51,517人	50,701人	58,100人	46,703人

決算書 (P284~P285)	7款1項2目 商工振興費	所管課等	産業振興課
事業名	商業振興支援事業		

(2) 指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
				予 算	実 績
①収入		—	—	—	—
②支出	大島やまざくら 管理運営委託料	4,587	3,843	4,252	4,252
	営繕修繕料	—	—	—	—
	公共建築物定期 点検業務委託料	—	335	—	—
	事業用備品購入費	2,700	578	—	—
	負担金	—	—	—	—
合 計		7,287	4,756	4,252	4,252
③公費投入額 (②-①)		7,287	4,756	4,252	4,252
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位: 円)		141	94	73	91

(参考) 指定管理者制度導入施設における指定管理者の収支状況 (税抜)

区 分		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	—	—	—	—
	大島やまざくら 管理運営委託料	4,247	3,558	3,937	3,937
	その他	63,079	61,164	62,575	59,561
②支出		63,168	62,200	66,512	61,376
差引 (①-②)		4,158	2,522	0	2,122

○目標達成状況

- ・地域の人口減少及び高齢化に伴う利用者の減少により、施設利用者数は 46,703 人 (計画比 80.4%) となり、目標数に至らなかった。
- ・引き続き、発注・在庫管理の徹底、シフト体制や移動販売部門の効率化による経費削減など、経営改善に取り組みつつ、買い物が困難な高齢者や交通弱者など、利用者のニーズを捉えた施設運営に努めていく。
- ・浦川原区での移動販売は、売上が安定して推移しており、経営改善に寄与している。

(参考) 浦川原区における移動販売 (自主事業) 実施状況

実施回数	売上高	利用者数
週1回 (毎週火曜日)	2,267 千円	1,393 人

決算書 (P 284～P 285)	7 款 1 項 2 目 商工振興費	所管課等	産業振興課
事業名	商業振興支援事業		

・えちご上越ネットショップ道場の参加企業 10 社

○実施内容、これまでの経過等

(1) 「えちご上越ネットショップ道場」の開催 (521)

ネットショップの収益向上を目指す市内中小企業の経営者や担当者同士が学び合い、切磋琢磨する連続講座「えちご上越ネットショップ道場」を開催した。この取組により、市内のネットショップ事業者の間で、経営力向上等に向けて、自ら学び合うことを目的とした任意団体が設立された。

・えちご上越ネットショップ道場の参加企業 11 社

(2) e コマース参入に向けたセミナー開催費等 (173)

独立行政法人中小企業基盤整備機構との連携の下、e コマース参入のための基礎的な知識を学ぶとともに、市内で先進的な取組を進めている事業者の身近な優良事例を紹介する機会を提供する「e コマースセミナー」を2回開催した。

また、セミナー、イベントに参加し、e コマースに関する最新の手法や市場動向等について情報収集した。

(3) I T 活用販売促進事業補助金 (2, 787)

インターネットを利用して商品、サービス等の販路の開拓又は拡大に取り組む市内中小企業に対し、ネットショップの開設、運営等に要する費用の一部を助成した。

・補助件数 12 件 (うち新規参入件数 5 件)

○目標達成状況

- ・えちご上越ネットショップ道場の参加企業は 11 社と目標を達成した。
- ・I T 活用販売促進事業補助金の件数は、12 件と目標には至らなかったものの、5 事業者が新たにe コマースに参入した。

【事業の成果】

- ・大島やまざくらでは、大島区の人口減少、高齢化等の影響により、店舗販売部門の売上が減少しているが、自主事業である平成 27 年度中から開始した浦川原区の一部地域における移動販売の売上は伸びている。
- ・各区商工会や商店街が地域商業活性化事業補助金を活用し、イベント等を通して各地区の産品や商店街の魅力等を発信し、来訪者の拡大に取り組んだことにより、地域の賑わいづくり、地域商業の活性化に寄与することができた。
- ・地域経済活性化店舗等改装促進事業補助金の交付を通して、中小企業者による店舗の改装や事業用設備の更新等を喚起し、各店舗の魅力の向上を図ったほか、市内の施工業者の受注機会を創出し、市内経済の活性化にも寄与することができた。
- ・オラレ上越の運営については、周辺地域との調和を図りつつ、円滑に行うことができた。
- ・人口の減少に伴い、既存の商圏人口が減少する中、インターネットを活用した新たな市場開拓や販路開拓を支援するとともに、「e コマースセミナー」や「えちご上越ネットショップ道場」などの場を通じた事業者間の交流を図ることにより、ネットショップ事業者による任意団体が設立され、主体的な取組を促すことができた。

決算書 (P284~P285)	7款1項2目 商工振興費	所管課等	産業振興課
事業名	商業振興支援事業		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・大島やまざくらは、大島区の人口減少、高齢化の影響を受け、売上、利用者が減少傾向にあることから、改めて施設利用者のニーズ把握に取り組み、利用促進に繋がる方策を講じる必要がある。
- ・地域商業活性化事業補助金について、一過性の効果に終わらないよう、商工団体や商店街等に、これまでの事業を検証し、事業効果の持続性を一層高める工夫を行うよう、促していく必要がある。
- ・移動販売を行う事業者を支援する買物利便性向上モデル事業については、予定していた事業者が、採算性への課題から申請をしなかったため未実施となった。
- ・eコマース参入後の業績は、各事業者の日々の業績分析や情報発信などの取組内容によって大きな差が生じていることから、ネットショップ事業者の任意団体と連携し、事業者間でノウハウを共有し、地域全体で販売技術を高めていく取組など、参入後のアフターフォローとなる支援にも、引き続き取り組んでいく。

【執行残額について】

事業費節減：独立行政法人中小企業基盤整備機構との連携に伴うえちご上越ネットショップ道場 開催経費節減	1,247
その他：地域商業活性化事業補助金の実績が見込みを下回ったため	2,824
IT活用販売促進事業補助金の実績が見込みを下回ったため	613
その他事業実施に伴う執行残	104



## 出資法人等経営状況報告書

### 1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	平成 30 年 8 月 22 日	担当部署	産業観光部 産業振興課
-------	------------------	------	-------------

※以下は平成 30 年 3 月 31 日現在の内容です。

### 2 法人等の概要

法人等名称	有限会社 やまざくら				
代表者名	取締役 岩野 虎治				
	<input type="checkbox"/> 常勤 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 <input checked="" type="checkbox"/> プロパー <input type="checkbox"/> 市派遣 <input type="checkbox"/> 市兼務 <input type="checkbox"/> その他				
	所在地				
所在地	新潟県上越市大島区大平 3874 番地 1				
設立年月日	平成 9 年 7 月 14 日	資本金	11,600 千円	市出資割合	98.3%
設立目的	上越市の食料品等販売施設「大島やまざくら」の管理運営、米穀類、農産物、山菜、花卉、食料品、清涼飲料水及び日用雑貨の販売、惣菜の製造販売等の事業を行うため。				

### 3 組織

(単位：人)

		理事・ 取締役	監事・ 監査役	計	内訳			
					プロパー	市派遣	市兼務	その他
役員	常勤	—	—	0				
	非常勤	1	1	2	2			
	計	1	1	2	2			
職員	正職員	—	—	2	2			
	臨時職員	—	—	0				
	パート職員等	—	—	9	9			
	計	—	—	11	11			

### 4 主な事業

(1) 大島やまざくらの管理運営
(2) 大島やまざくらの経営（米穀類、農産物、花卉、食料品、日用品雑貨及び酒類、たばこの販売）
(3) 惣菜の製造販売
(4)
(5)
(6)
(7)

## 5 事業実績（概要）

- ・平成29年度（第21期）の営業収益（売上高）は、平成28年度（第20期）の売上高に同年度の指定管理料（税抜3,558千円）を加算した場合の63,810千円と比較すると、1,211千円の減（1.9%の減）の62,599千円となった。夏期の大暑や冬期の積雪等による店舗部門の来客数の減、地域の高齢化に伴う買い物人口の減少及び購買力の低下などが要因と考えられる。
- ・営業費用のうち、売上原価では、POSレジの活用により、前期との比較で1,793千円の減（3.8%の減）の45,282千円となり、一般管理費及び販売費では、施設の老朽化による修繕費の増や移動販売車両の車検費用等により、前期との比較で328千円の増（2.2%の増）の15,223千円となった。これにより営業費用全体では、前期との比較で1,465千円の減（2.4%の減）の60,505千円となり、営業利益は2,094千円となった。
- ・当期純利益は、前期との比較で400千円の減の2,122千円となり、当期（第21期）末の欠損金は、前期（第20期）末の4,143千円から2,021千円に改善された。

### 【平成29年度（第21期）の営業概要】

- ・高齢者を中心とした地域住民への新商品のチラシ配布などPR活動を実施した。
- ・POSレジの活用やシフト体制の合理化により経費を削減した。
- ・平成28年度から引き続き試行販売として、浦川原区で移動販売を実施し、利用者及び売上の増となった。

### 【利用者数の実績】

（単位：人）

部門	区分	平成27年度 （第19期）	平成28年度 （第20期）	平成29年度 （第21期）
店舗	目標	57,600	56,000	55,000
	実績	47,513	46,568	42,496
移動販売	目標	6,720	3,100	3,100
	実績	4,004	4,133	4,207
合計	目標	64,320	59,100	58,100
	実績	51,517	50,701	46,703
※試行販売	実績	—	868	1,393

※試行販売：浦川原区移動販売

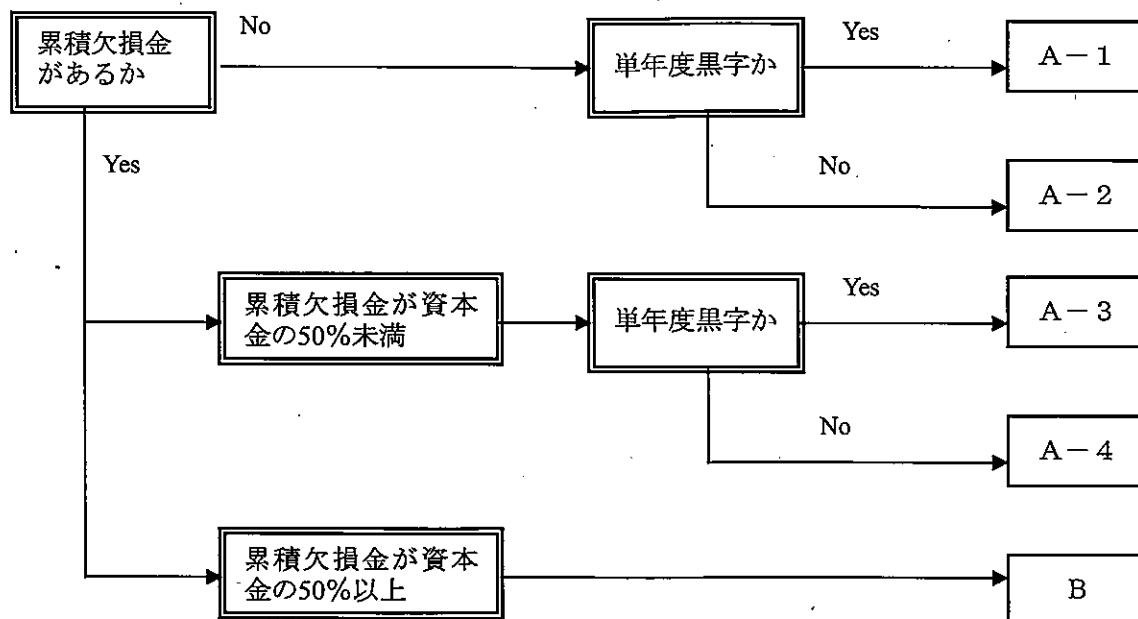
## 6 財務状況

(単位:千円)

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考	
	自平成27年4月1日 至平成28年3月31日	自平成28年4月1日 至平成29年3月31日	自平成29年4月1日 至平成30年3月31日		
損益計算書	営業収益(売上高)	65,483	63,810	62,599	
	営業費用	62,915	61,970	60,505	
	売上原価	47,242	47,075	45,282	
	一般管理費・販売費	15,673	14,895	15,223	
	営業利益	2,568	1,840	2,094	
	営業外収益	509	912	899	
	営業外費用	73	50	37	
	経常利益	3,004	2,702	2,956	
	特別利益	1,334	0	0	
	特別損失	0	0	0	
	税引前当期利益	4,338	2,702	2,956	
	法人税等	180	180	834	
	当期利益	4,158	2,522	2,122	
項目	平成28年3月31日現在	平成29年3月31日現在	平成30年3月31日現在	備考	
貸借対照表	資産	11,847	12,985	16,245	
	負債	6,912	5,528	6,666	
	純資産	4,935	7,457	9,579	
	資本金	11,600	11,600	11,600	
	剰余金・欠損金	△6,665	△4,143	△2,021	
その他	0	0	0		

## 7 経営状況の予備的診断

### 予備的診断フロー



評価	A-3
----	-----

	評価基準	備考
A-1	累積欠損金がなく、単年度黒字の場合	引き続き経営努力を行う。
A-2	累積欠損金がなく、単年度赤字の場合	複数年の経過を注視しながら引き続き経営努力を行う。
A-3	累積欠損金が資本金の50%未満で、単年度黒字の場合	経営改善の努力を要する。
A-4	累積欠損金が資本金の50%未満で、単年度赤字の場合	経営改善の一層の努力を要する。
B	累積欠損金が資本金の50%以上の場合	事業の見直し等も含めた抜本的な経営改善を要する。

※ この評価に関連する特殊な事情又は要因など特記すべき事項

4期連続で単年度黒字を計上しました。また、平成30年3月末の累積欠損金は2,021千円となり、資本金11,600千円に対する比率は、前期末の35.7%から当期末は17.4% (△18.3%) に改善されました。

## 8 市の関与の状況

### (1) 市の委託額

(単位：千円)

内訳	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
① 大島やまざくら指定管理委託料 (税込)	4,587	3,843	4,252	
② 大島ゆきわり荘施設維持管理業務委託 (税込)	—	454	454	
計	4,587	4,297	4,706	

### (2) 市の財政援助額

(単位：千円)

内訳	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
① 補助金 (助成金)	0	0	0	
② 貸付金	0	0	0	
③ 損失補償	0	0	0	
④ 債務保証	0	0	0	
⑤ その他 ( )	0	0	0	
計	0	0	0	

## 9 今後の経営計画等

### (1) 次期事業計画

・平成30年度 (第22期) は、売上高 67,515 千円、経常利益 2,185 千円を目標に掲げ、更なる経営健全化に向けて次の取組を行う。

- ① 店舗利用者数減少に伴う売上減少対策として、利用者の要望に対応するとともに各仕入先と連携強化することで品揃えを充実させ、売上と利用増に努める。
- ② POSレジの有効活用により、廃棄商品等を削減するなど商品管理を徹底し、収益性の改善を図る。
- ③ 移動販売部門において、販売路線の見直しを行うなど地域利用者の要望にあった内容に改善を図り、売上と収益の安定化を図る。

【売上目標】

(単位：千円 (税抜))

	店舗	移動販売	(市委託額)	合計
平成30年度 (第22期)	53,550	9,600	(4,365)	67,515

### (2) 中長期経営計画

あり

## 8月28日豪雨災害の被害状況について

## ○農地・土地改良施設被害

単位：件

町内会名	農地	農道	水路	合計
菖蒲西	1			1
牛ヶ鼻			1	1
大島	1	1	1	3
中野	1			1
上達	2			2
深沢	2		1	3
大平	3			3
下岡	3			3
上岡	6			6
板山	2			2
田麦	10	2	1	13
竹平		1		1
合計	31	4	4	39

## ○市道・林道・市管理農道被害

路線名	被害状況	対応状況
市道田麦角間線	法面崩落 W2m×L6m	土砂撤去済み
市道大山儀明線	道路内への土砂流出 W2m×L6m	土砂撤去済み
市道深沢ラテン線	道路内への土砂流出（軽微）	土砂撤去済み
市道細越大新田線	道路内への土砂流出 W2m×L7m	土砂撤去済み
市道道田線	法面崩落 W2m×H3m	土砂撤去済み・通行止解除
林道菖蒲線	法面崩落 W3m×H2m	見積徴収中
農道足谷線	法面崩落 W4m×H3m	見積徴収中
農道牧山線	路肩洗掘	見積徴収中
農道三竹沢線	法面崩落 W3m×H2m、水路閉塞	見積徴収中
合計	9路線	

干ばつ被害対策について

○かん水用機械等整備対策事業申請件数

申請者数	購入ポンプ	購入ホース	購入タンク	総事業費	補助金交付 見込額
34人	31台	30本	5台	3,100千円	1,068千円

※申請者には団体含む

《事業概要》

○補助内容：かん水用機械等の借上げ又は、購入に要する経費に対し補助する。

○補助率：補助対象となる経費の50%

○限度額（抜粋）

補助対象品目等	補助対象経費限度額	補助金限度額
ポンプ購入	84,000円/台	42,000円
ホースの購入	8,000円/台	4,000円
ポリタンク購入(200ℓ以上)	26,000円/台	13,000円

○干ばつ災害復旧事業申請数「田面ひび割れ復旧」

(10月17日現在)

町内会名	申請状況		査定結果		採択率(%)	
	ほ場数 (枚)	面積 (㎡)	ほ場数 (枚)	面積 (㎡)	ほ場数	面積
西 沢	65	63,730	29	28,223	44.6	44.3
熊 田	2	1,390	2	1,390	100.0	100.0
仁 上	22	25,910	14	17,030	63.6	65.7
棚 岡	2	3,580	2	3,580	100.0	100.0
千 原	7	6,630	5	4,580	71.4	69.1
田 麦	49	60,145	31	41,750	63.3	69.4
竹 平	25	27,601	13	14,736	52.0	53.4
計	172	188,986	96	111,289	55.8	58.9

《事業概要》

○補助内容：重機を用いた湛水整地など、被災した水田の復旧工事に要する経費。

※主要機械はブルドーザー以外も可能。

○補助率：補助対象経費の65%

○限度額：補助対象経費限度額 47,000円/10a

補助金限度額 30,000円/10a (千円未満切り捨て)

○補助対象要件：亀裂の深さが田面から20cm以上あり、耕盤が破壊(保水能力が低下)されているもの。

水田一筆において複数箇所(全体的に散在しているもの)に亀裂が生じているもの。

平成 30 年 8 月 20 日

大島区・安塚区・頸城区・大潟区  
地域協議会会長 様

上越市浦川原区地域協議会  
会長 藤田 宏 祥

平成 30 年度 浦川原区地域協議会委員研修会の開催について（ご案内）

残暑の候、貴職におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、浦川原区地域協議会では、以前から交通機関等の利便性について協議を行っており、特に、ほくほく線沿線に二つの駅を有する当区においては、通勤、通学を始めとする移動手段として欠かせない交通機関となっております。

このことから、ほくほく線の現状と今後の利用促進について見識を深めるため、下記のとおり研修会を計画いたしました。

つきましては、ほくほく線沿線の地域協議会の皆様からもこの研修会にご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

記

○開催日時等 別紙「平成 30 年度浦川原区地域協議会委員開催要項」のとおり

【浦川原区地域協議会事務局】

上越市自治・市民環境部浦川原区総合事務所

総務・地域振興グループ 宮川、西條

TEL:025-599-2301 FAX:025-599-2225

E-mail: uragawara-soumu.g@city.joetsu.lg.jp



## 平成30年度 浦川原区地域協議会委員研修会開催要項

### 1 趣 旨

地域協議会委員として、地域の現状や課題について共通認識を持ち、地域課題の解決に向けた自主的な審議につなげるため、地域の課題を議論する上で必要な知識や現状等の見識を深めることを目的に開催する。

### 2 日 時

平成30年11月28日(水) 18時00分から1時間程度

### 3 会 場

浦川原コミュニティプラザ 4階 市民ホール  
(上越市浦川原区釜淵5番地 電話025-599-2301)

### 4 内 容

(1)開会 18時00分

(2)挨拶 浦川原区地域協議会長 藤田 宏禎

(3)講演 18時03分～19時00分

・テーマ 「ほくほく線の現状と今後の利用促進について」

・講師 北越急行株式会社 渡邊 正幸 社長

質疑応答 19時00分～19時15分

### 5 対象者

・浦川原区、大島区、安塚区、頸城区、大潟区地域協議会委員(ほくほく線沿線区)

#### ■担当

浦川原区地域協議会事務局

電話025-599-2301 F A X025-599-2225

平成30年度「大・浦・安」地域協議会委員研修会開催要項

【趣 旨】大島区、浦川原区、安塚区の地域協議会委員が一堂に会し、日ごろの活動状況などについて情報交換するとともに、テーマを定めた研修の場として「大・浦・安」地域協議会委員研修会を開催する。

【日 時】平成30年11月13日（火） 15時00分から

【会 場】講 演 会 安塚コミュニティプラザ  
情報交換会 ゆきだるま温泉 雪の湯

【内 容】

1. 開 会 15:00
2. あいさつ (安塚区地域協議会 数井会長)
3. 講 演 会  
講 演  
演 題：「陸上自衛隊及び高田駐屯地の概要」 15:10～16:10
  - ・陸上自衛隊の概要（編制、装備、活動）
  - ・高田駐屯地の概要（沿革、部隊、活動）
  - ・地域とのつながり（民生支援等）
  - ・その他講 師：陸上自衛隊高田駐屯地 第5施設群長 北島 崇生 様
- 質疑応答 16:10～16:30
- 移 動 16:40～17:10
4. 情報交換会 17:20～19:00  
ゆきだるま温泉 雪の湯

【参集者】

- ・大島区地域協議会（中村朝彦会長） 12人
- ・浦川原区地域協議会（藤田宏禎会長） 12人
- ・安塚区地域協議会（数井憲一会長） 12人
- ・各区事務局

平成30年度 幹事

安塚区地域協議会

事務局：安塚区総合事務所 総務・地域振興グループ 國保・仮澤

電話 025-592-2003